

市議会だより くるめ

第194号

令和元年
8月1日発行

発行：久留米市議会
編集：議会広報委員会
久留米市城南町15番地3
TEL 0942(30)9305
FAX 0942(30)9720
E-mail gikai@city.kurume.fukuoka.jp

重要無形文化財 久留米絣
(公財)久留米絣技術保存会提供



一ノ瀬親水公園で川遊び

令和元年
6月定例会号

CONTENTS [目次]

- 令和元年6月定例会 2
- 市政に対する一般質問 4
- 議案の議決結果と会派ごとの賛否の状況 8
- 平成30年度 政務活動費の収支状況 9
- 常任委員会の活動状況(5月) 9
- 議会広報委員会の紹介 10



表紙の絣の模様は、毎号変えています。今回の作品名は「瑠璃色のさざ波」です。

新体制発足後 初めての定例会 令和元年度一般会計補正予算などを議決

6月10日から24日までの15日間の日程で、令和元年第3回定例会を開催しました。

10日の本会議では、市長から令和元年度一般会計補正予算、久留米市市税条例等の一部を改正する条例など12議案の提案説明がありました。

12日から17日までの本会議では、議員が市政に関する事務の状況や今後の方針などについて、市長や教育長に一般質問を行いました。（☞4P）

18日には教育民生常任委員会と建設常任委員会、19日には経済常任委員会と総務常任委員会を開催し、

それぞれの委員会に付託された条例議案などを審査しました。（☞2P）

20日には議会運営委員会を開催し、本会議最終日の議会運営や、市長から追加で提出される議案の取り扱いなどを協議しました。

24日の本会議では、各常任委員会の議案審査結果報告があり、全ての議案を可決、または承認し、追加提出された教育委員会委員の任命などの人事議案2件（☞3P）についても同意し、第3回定例会を閉会しました。

議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。ここでは、主な議案について、その内容と委員会における審査状況をお知らせします。

●第47号議案 令和元年度久留米市一般会計補正予算（第1号）

【付託先：経済常任委員会】

【商品券発行事業費補助金】

市内の商工団体が実施する商品券発行事業へ補助を行うための費用として1億1,511万2千円を増額補正するものです。

委員から「市民や商工業を営む方々にとってどの程度効果が出ているのか」との質疑があり、商工政策課から「昨年度の利用者アンケートによると、新たな消費喚起効果が約12億7,000万円、地域内での消費促進効果が約4億7,000万円と推計している。登録店のアンケートでは、売上げが増加したとの回答が28%、新規顧客の獲得につながったとの回答が24.1%となっていて、独自の販売促進活動を実施した店では、より事業効果が高まる結果となっている」との答弁がありました。

【債権処理等検討業務委託料】

西鉄久留米駅東口周辺の諸課題の解決に向け、市が久留米都市開発ビル株式会社に対して保有する債権の取り扱いや同社の経営改善などについて検討す

るため、専門的な見地からの分析や調査を行う費用として、2,000万円を増額補正するものです。

委員から「事業者からの提案をもとに選定を行う公募型プロポーザル方式により募集することのだが、さまざまな意見を取り入れるためにはできるだけ広く公募を行う必要があるのではないか」との質疑があり、商工政策課から「専門性が高い業務であるため、市内に限らずなるべく広く公募を行い、事業者を決定したい」との答弁がありました。



西鉄久留米駅東口の商業ビル

**●第48号議案 財産（消防ポンプ自動車）の
可決！ 取得について**

〔付託先：総務常任委員会〕

消防ポンプ自動車の老朽化に伴い、新たな消防ポンプ自動車2台を取得するものです。

取得後は、久留米市消防団の第4分団（鳥飼校区）と第20分団（草野校区）に配置する予定です。

委員から「何年で車両を更新しているのか。また、更新の際、出動回数や走行距離は考慮しているのか」との質疑があり、防災対策課から「18年を目安に更新している。各消防団に配置されている車両には、出動回数や走行距離について相違があり、ポンプの老朽化を更新の目安としている。また、ポンプの使用状態により前倒して更新することもある」との答弁がありました。



取得予定である消防ポンプ自動車（イメージ）

**●第52号議案 交通事故による損害賠償につ
可決！ いて**

〔付託先：建設常任委員会〕

公務中に発生した交通事故により、被害者が受けた損害を市が賠償するため、その額の決定と和解契約の締結について議会の議決を求めるものです。

委員から「事故の際の運転者の状況や原因は把握しているのか」との質疑があり、資源循環推進課から「前方不注意が原因であり、職場で十分指導を行った」との答弁がありました。

それに対し委員から「事故を起こした職員への交通安全対策を十分に行い、ほかの職員に対しても注意喚起を徹底してほしい」との意見が出されました。

**●第55号議案 久留米市指定障害児通所支援
可決！ の事業等の人員、設備及び運営の基準に関する
条例**

〔付託先：教育民生常任委員会〕

障害児通所支援事業者の指定等の事務権限が、福岡県から中核市である本市に移譲されることに伴い、指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準を条例で定める必要があるため、条例を制定するものです。

委員から「障害児通所支援事業の一つである放課後デイサービスと学童保育の連携を進めるため、放課後デイサービス事業者を組織化することや、学童保育を所管する子ども未来部と連携することができないか」との質疑があり、障害者福祉課より「福祉サービス事業者等で設立された既存の団体の枠組みを活用するなど事業者の組織化を働きかけるとともに、情報共有等がよりスムーズにできるように、子ども未来部などとも連携を密にして対応したいと考えている」との答弁がありました。

同意した人事案件

市長が任命または選任する人事には、議会の同意を得なければならぬものがあります。なお、敬称は省略しています。

●教育委員会委員

福岡市 中野 浩美

●固定資産評価員

小森野六丁目 高田 洋一

議員の表彰

6月11日に開催された第95回全国市議会議長会定期総会において、3人の議員が表彰を受けました。

●全国市議会議長会表彰

25年表彰 原口 新五議員

20年表彰 甲斐田義弘議員

15年表彰 市川 廣一議員

一般質問とは、議員が市長などに対して、提案されている議案とは関係なく、市の事務の状況や今後の方針などの説明を求め、住民の代表として市政をチェックするものだよ。

久留米市
イメージキャラクター

くるっぴ

市政に対する 一般質問

スマホなどをお持ちの方は、各議員の顔写真の横のQRコードを専用アプリで読み取ると、本会議での質問の録画映像をごらんいただけます。



小規模事業者支援のための
条例制定を

日本共産党久留米市議団 小林ときこ

問 小規模事業者が地域で果たしている役割は大きく、その実態を把握し、ニーズに即した効果的な支援を行うことが重要であると考えます。小規模企業振興基本条例を制定し、小規模事業者支援策の拡充など、一定の成果が出ている自治体もあるが、本市でも、同条例の制定を検討できないか。

答 小規模事業者の実態は、市が行う企業訪問や相談対応、商工団体との意見交換等により把握に努めている。また、商工団体が把握した事業者の支援ニーズを共有することも重要であると考えます。

今後は、国や他自治体の状況も踏まえた上で、小規模事業者の振興や支援のための効果的な施策の検討、推進に取り組み、条例の早期制定のためのさまざまな課題等についても検証を行っていききたい。

◎その他の質問…国民健康保険における子どもの均等割についてなど



おくやみコーナーの設置を

公明党議員団 田中 貴子

問 死亡手続に関するワンストップ窓口「おくやみコーナー」を設置している自治体では、手続を一元的に受け付け、住民サービスの向上に取り組んでいる。市職員の負担軽減にもつながると思われるが、本市でも、おくやみコーナーの導入を考えられないか。

答 導入している他自治体では、届出書類の統一化や時間の短縮など一定の効果が上がっていると認識しているが、本市での導入にあたっては、費用対効果等の検証も必要である。また、高齢化の進展や家族形態の変化、IT技術の進歩などを見極める必要があると考える。

今後は、本市で進めている^{*}e-市役所の取り組みも踏まえながら、死亡に伴う各種手続についても、さらにわかりやすい、市民に寄り添った窓口サービスを検討していきたい。

◎その他の質問…期日前投票所の増設についてなど

^{*}e-市役所…ICT(情報通信技術)を活用して、スピーディーで効率的な行政運営と、便利で利用しやすい市民サービスの実現を目指すこと。

外国語教育におけるAL^{*}Tの活用を



公明党議員団 井上 寛

問 来年度の新学習指導要領の全面实施を控え、小学校3・4年生では外国語活動、5・6年生では外国語教育が教科として実施される予定である。知識の吸収力や異文化への興味が旺盛な幼少期に、外国語教育を施す意義は大きいと思うが、本市の小学校で任用しているAL^{*}Tの現状と成果について伺いたい。

答 市教育委員会では、ネイティブの英語を話すAL^{*}Tは、英語によるコミュニケーション能力の向上に効果的であると考えており、昨年度から段階的に配置時間をふやしている。また、授業だけでなく学校行事や給食の時間など、児童がAL^{*}Tと英語でコミュニケーションを図る機会も設けている。

新学習指導要領に基づく授業を実践するため、AL^{*}Tと連携した効果的な授業づくりを進めていきたいと考えている。

◎その他の質問…地区防災計画についてなど

通学路の安全対策は



明政会議員団 権藤 智喜

問 全国で児童生徒が犠牲になる交通事故が発生しているが、通学路の安全確保について、市ではどのように取り組んでいるか。また、通学路の危険箇所をどのようにして把握しているか。

答 本市では、県などの道路管理者や警察、市教育委員会と連携し、組織的・継続的な通学路の安全確保に取り組んでおり、路側帯のカラー舗装や歩道の整備など、危険箇所の安全対策を進めている。

また、市教育委員会では、日常的に道路を利用している保護者や地域からの情報をもとに危険箇所を把握しており、実際の事故発生箇所を選定し、関係機関による合同点検を行っている。

今後も、PTAや地域へ働きかけるとともに、道路管理者や警察との連携を強化し、通学路の安全対策をさらに進めていきたいと考えている。

◎その他の質問…保育士確保の取り組みについてなど

※AL^{*}T…Assistant Language Teacherの略で、外国語(英語)を母国語とする外国語指導助手のこと。児童生徒の英語でのコミュニケーション能力や国際理解教育の向上を目的とし、小・中学校等の外国語の授業等で、学級担任や英語教諭の補助をしている。

登校しても教室に入ることができない児童生徒への対応は



緑水会議員団 吉武 憲治

問 全国の小・中学校の不登校児童生徒数は、平成29年度で過去最多となっているが、本市の現状はどのようになっているか。また、教室ではなく保健室で過ごすなどの児童生徒もふえているようだが、その解消に向けた取り組みについて伺いたい。

答 29年度の市立小・中学校の不登校児童生徒数は、小学校38人、中学校218人、合計256人で、23年度以降減少しており、全国平均を下回っている。また、登校しても教室に入ることができない児童生徒には、コミュニケーションを取りやすい教職員が相談や学習支援を行うなど組織的な対応に努めている。なお、教職員以外のスクールカウンセラーや校内適応指導教室助手なども児童生徒に寄り添い、一人ひとりの状況に合わせてきめ細やかに対応している。

◎その他の質問…JR荒木駅の利用環境の向上に関する取り組みについてなど

新たなICT導入の目的と今後の展望は



久留米たすき議員団 早田 耕一郎

問 急速な人口減少とそれに伴う労働力不足の中、行政サービスの質や水準を維持していくには、RPA^{*}などをはじめとした新たなICTの導入が必要と考える。今年度、本市でRPAを導入する目的と、今後の展望について伺いたい。

答 本市では、ICTを活用したe-市役所の構築を積極的に進めている。その取り組みの一つとして、これまで職員が行ってきた定型的なパソコン操作を自動化するRPAを導入し、市民サービスを充実させ、職員の働き方改革も目指していきたい。今年度は、一定の効果が見込まれる国民健康保険業務や税業務などへRPAを導入する予定である。

新たなICTの導入は、時期を逸することなく検討を進めていきたい。

◎その他の質問…超スマート社会に対応するための時代に即した人材育成のあり方についてなど

※RPA…Robotic Process Automationの略で、これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作を、ソフトウェアのロボットにより自動化すること。



北野・城島・三潁地域の 光回線化の考えは

明政会議員団 田中 良介

問 現在、北野・城島・三潁地域のインターネット回線サービスは、ケーブルテレビのネットワークが使われており、最近はインターネットの速度が落ちる、つながらなくなるなどの不満の声が上がっている。これら3地域の光回線化について、どのように考えているか。

答 ケーブルインターネットサービスを提供している民間通信事業者には、速度のばらつきやインターネットにつながりにくい状況を改善するように伝えたい。また、3地域の方々からは、光インターネット利用の要望が寄せられており、光インターネットの通信事業者にも伝えている。新たな技術による動画配信や、大容量・高速化の通信環境の整備状況を見守りながら、3地域の通信インフラ全体の改善を進めていきたい。

◎その他の質問…久留米南西部の振興についてなど



道路冠水注意マップの さらなる周知を

久留米たすき議員団 中村 博俊

問 平成30年7月豪雨による浸水被害を受けて改訂された市内の道路冠水注意マップは、筑後川等の氾濫時の浸水想定地域がわかりやすく色分けされている。このマップを広く市民に利用してもらうため、今後どのように周知していくのか。

答 市では、平成29年に市内全46校区ごとに道路冠水注意マップを作成し、ホームページ等で公開している。その後、平成30年7月豪雨による浸水被害を受け、各校区への聞き取りや現地調査を行い、冠水管所を新たに追加した改訂版を作成した。改訂版は、ことし5月にホームページ等で公開するとともに、コミュニティセンターへ配布し、校区の自主防災訓練等でも紹介している。今後もイベント等での配布を継続的に行い、市民へのさらなる周知に努めたい。
◎その他の質問…金丸川・池町川の内水氾濫対策について



高齢運転者の事故防止の 取り組みは

明政会議員団 田住 和也

問 最近、全国で高齢者が運転する車の事故が後を絶たず、早急な対策が必要である。本市での高齢者が加害者となる事故の発生状況は、どうなっているか。また、事故を未然に防ぐ取り組みの充実について、どのように考えているか。

答 高齢者が加害者となる交通事故は、平成25年の500件から30年は436件と減少傾向にある。

高齢者が加害者となる事故を未然に防ぐためには、運転者に自身の運動能力が変化していることを自覚してもらうことが最も重要だと考えている。

そこで、警察や交通安全協会等と連携し、実技体験型の交通安全講習会を開催しているが、今後はさらに充実させることを検討している。また、高齢者が多く集まるイベントの場で事故防止を呼びかける活動にも積極的に取り組んでいきたい。

◎その他の質問…学童保育所事業についてなど



公園等への土のう ステーションの設置を

みらい久留米議員団 秋永 峰子

問 市民の方から、家屋への浸水防止のために土のうを使えないかというお尋ねがあった。公園に土のうステーションを設置し、土のうを自由に使えるようにしている自治体もあるが、本市でも、浸水等の被害の緩和と自主防災意識向上のために、土のうステーションの設置を検討できないか。

答 土のうステーションは、全国のいくつかの自治体で設置されている。必要なときに自由に土のうを利用できることから、市民が浸水被害を自主的に警戒、防止するための自助・共助の取り組みを支援するものと考えている。

しかし、設置場所の選定や確保、維持管理、使用後の処理などの課題もあるため、他自治体の設置事例の調査・研究を行っていきたい。

◎その他の質問…高齢者に対する広報くるめの役割についてなど

市東部地域の地域振興策は



久留米たすき議員団 堺 太一郎

問 今年度、地域振興担当理事が配置され、市東部・西部の地域振興が市の重要課題と認識されていることが伺える。本市の東部地域の今後の振興についての考えを伺いたい。

答 本市の東部地域は、フルーツ狩りや酒蔵などの観光資源、企業の進出など、都市の魅力向上の可能性を秘めている。その振興にあたっては、商工会やまちづくり振興会、地域おこし協力隊などと連携し、地域資源の発掘や磨き上げを進め、地域の魅力を発信し、交流人口の拡大に努めていきたい。

さらに、近隣自治体と広域的な連携・協力を積極的に進めることで、地域資源を効果的に活用し、市東部地域を含む周辺地域全体の振興を進めていきたいと考えている。

◎その他の質問…地方創生総合戦略の推進についてなど

農産物の安全性を担保する *GAP認証の取得支援強化は



明政会議員団 吉富 巧

問 本市の農産物の安全性を高め、広くPRすることが、ブランド力の向上や農業者の所得向上、経営安定、産地振興につながると考える。農産物の安全性を担保するGAP認証取得のさらなる推進に向けた今後の取り組みについて伺いたい。

答 国際認証のグローバルGAPや国内認証のJGAPは、審査や更新に多額の経費がかかるため、安全な農産物づくりに熱心に取り組まれている農業者でも、認証取得につながりにくいという課題がある。

このことから、本市では、経費負担の少ない福岡県GAPを先行して推進し、将来的にはグローバルGAPやJGAPの認証取得につなげていきたいと考えている。県GAPの認証取得推進については、県や農業者団体と連携し、農業者の研修の場での制度周知などに取り組んでいきたい。

◎その他の質問…北野地域の治水対策についてなど

※GAP…Good Agricultural Practiceの略で、農作業の記録、農薬・肥料の適正使用、水質や土壌管理などの項目についてチェックし評価する、安全で安心な農産物の生産工程を管理していく取り組みのこと。

ミサイル飛来時の避難行動の 市民への周知は



緑水会議員団 森崎 巨樹

問 国際情勢が複雑化する中、国同士のどのような衝突が起こるか想定できない状況である。そのような中、市としては予告なくミサイルが飛来する事態を想定しておく必要があると思うが、どのように対処しようと考えているか。また、市民への避難行動の周知方法について伺いたい。

答 市では、弾道ミサイルの飛来が予想される場合、国からJアラートによる緊急情報を受け、緊急告知防災ラジオへの自動放送や緊急速報メールの自動配信により、市民へ情報を伝えている。

また、避難行動については、ホームページや広報くろめ、出前講座、総合防災訓練などで周知している。今後も、より速やかで適切な避難行動につながる訓練や周知方法について、検討していきたい。

◎その他の質問…危機管理体制における自衛隊との連携についてなど

ごみ出しが困難な方への 支援は



明政会議員団 山田 貴生

問 高齢者や障害をお持ちの方などがごみ出しをする時、集積所が遠いなど不便な思いをされていると聞く。近隣の助け合いなどにより支援が行われている地域も既にあるが、限界があると思う。

ごみ出し支援の共助と公助の役割分担や、今後の方向性について、どのように考えているか。

答 家庭ごみは各自で集積所に出すことが前提だが、単身の高齢者など集積所まで持って行くことが困難な方がふえており、親族や近隣で助け合うなどして対応されている。市では、自助・共助によるごみ出しを進める一方、支援を受けることが困難な単身家庭等は、戸別に収集することなどの取り組みを検討している。今後、国が作成する予定のごみ出し支援に関するガイドラインも踏まえ、対象者の選定や収集方法などの具体的内容を分析、検討していきたい。

◎その他の質問…森林整備についてなど

※Jアラート…弾道ミサイル情報、緊急地震速報、津波警報、気象情報などの緊急情報が、消防庁を経由して全国の都道府県、市町村等に送信され、緊急速報メール（エリアメール）などにより住民へ伝達する仕組みのこと。

議案の議決結果と会派ごとの賛否の状況

議案名	会派名	明政会 (12)	たすき (8)	公明党 (6)	緑水会 (5)	みらい (2)	共産党 (2)	議決結果
第45号 久留米市市税条例の一部を改正する条例制定の専決処分について		○	○	○	○	○	○	承認
第46号 久留米市介護保険条例の一部を改正する条例制定の専決処分について		○	○	○	○	○	○	
第47号 令和元年度久留米市一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	可決
第48号 財産（消防ポンプ自動車）の取得について		○	○	○	○	○	○	
第49号 訴えの提起について		○	○	○	○	○	○	
第50号 市道路線の廃止について		○	○	○	○	○	○	
第51号 市道路線の認定について		○	○	○	○	○	○	
第52号 交通事故による損害賠償について		○	○	○	○	○	○	
第53号 久留米市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	
第54号 久留米市市税条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	
第55号 久留米市指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例		○	○	○	○	○	○	
第56号 久留米市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	
第57号 久留米市教育委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	退	同意
第58号 久留米市固定資産評価員の選任について		○	○	○	○	○	退	

会派名の（ ）内の数字は所属議員数です。ただし、明政会は議長を除きます。議長は表決に加わりません。
賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。

会派名：明政会（明政会議員団）、たすき（久留米たすき議員団）、公明党（公明党議員団）、緑水会（緑水会議員団）、
みらい（みらい久留米議員団）、共産党（日本共産党久留米市議団）

議員個人の賛否の状況は、ホームページでごらんいただけます。

久留米市議会 議案と結果

検索  クリック

市議会だよりをスマホにお届け

アプリ「マチイロ」での配信をスタート

操 作 は 簡 単

市議会だよりくるめを、さらに身近に読んでいただけるよう、スマホやタブレット端末で気軽に読めるアプリ「マチイロ」での配信を始めました。

ご利用方法

- 最新号の発行をプッシュ通知でお知らせ
- 一度保存すると、通信せずに読むことができます
- 気になる記事は、画像で切り取って保存できます

1. QRコードを読み取るか、App StoreまたはGoogle Playから「マチイロ」と検索し、アプリをダウンロードしてください。

2. メニュー／個人設定から「お住まいの地域」を「久留米市」に設定してください。



※通信料は利用者のご負担となります。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0942-30-9305

FAX 0942-30-9720

平成30年度 政務活動費の収支状況

政務活動費とは、「地方自治法」並びに「久留米市議会政務活動費の交付に関する条例」の規定に基づき、久留米市議会議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、会派に交付されるものです。政務活動費の額は、所属議員数一人当たり月額5万円を年4回に分けて交付しています。

なお、交付額から経費を差し引いた残額は、市へ返還することになっており、すでに返還済です。

(単位：円)

会派名	明政会 (13人)	久留米たすき (4~9月7人) (10月~6人)	公明党 (6人)	緑水会 (6人)	みらい久留米 (3人)	日本共産党 (2人)	無所属クラブ (1人)	合計	
交付額	7,800,000	3,900,000	3,600,000	3,600,000	1,800,000	1,200,000	600,000	22,500,000	
支出	(1) 研修費	580,760	2,346,800	685,560	236,530	945,210	125,800	62,900	4,983,560
	(2) 調査研究費	1,032,780	140,000	1,732,980	1,252,150	486,090	0	0	4,644,000
	(3) 要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	(4) 資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0
	(5) 資料購入費	48,306	90,720	0	0	0	2,160	77,760	218,946
	(6) 広報費	2,526,058	0	0	0	0	839,592	0	3,365,650
	(7) 広聴費	0	0	0	0	0	1,500	0	1,500
	(8) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	(9) 事務費	250,817	76,435	75,918	63,504	49,331	35,846	11,304	563,155
合計	4,438,721	2,653,955	2,494,458	1,552,184	1,480,631	1,004,898	151,964	13,776,811	
返還額	3,361,279	1,246,045	1,105,542	2,047,816	319,369	195,102	448,036	8,723,189	

支出項目の内容

- (1) 研修費…会派が研究会、研修会を開催するために要する経費。会派の所属議員が他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために要する経費
- (2) 調査研究費…会派の所属議員が市の事務、地方行財政等に関する調査研究を目的とした視察に要する経費。会派の所属議員が団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費
- (3) 要請・陳情活動費…会派が要請又は陳情活動を行うために必要な経費
- (4) 資料作成費…会派が資料を作成するために要する経費
- (5) 資料購入費…会派が図書、資料等を購入するために要する経費
- (6) 広報費…会派が行う活動の成果又は市政について住民に報告するために要する経費
- (7) 広聴費…会派が市政及び会派の政策等に対する住民からの要望又は意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
- (8) 人件費…会派が行う活動を補助する職員を雇用するために要する経費
- (9) 事務費…会派が行う活動のために必要な事務に要する経費

領収書などの収支関連書類は、ホームページに公開しています。また、議会事務局で書類の閲覧ができます。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

常任委員会の活動状況（5月）

久留米市議会では、4つの常任委員会が分野ごとに市の事務事業を所管しており、毎月委員会を開催しています。

5月16日の臨時会で新しい常任委員が決定したので、5月末の各常任委員会では、7月以降の定例会閉会中に開催する委員会で調査研究を行う項目につ

いて、委員の意見を募りました。その結果、調査研究項目については、委員長を中心に調整していくことを各委員会で決定しました。

- ▶ 5月28日 建設常任委員会
- ▶ 5月30日 総務常任委員会、教育民生常任委員会
- ▶ 5月31日 経済常任委員会

新人議員研修会を開催

4月の選挙で初当選した議員9人を対象にした研修会を開催しました。

定例会の開会を1週間後に控えた6月3日の研修会では、本会議の審議や委員会の審査の流れ、議会用語の解説などを含めた議会運営について、議事事務局から説明がありました。また、過去の一般質問の動画などを参考にしながら理解を深めました。これらの研修を踏まえ、6月の市議会定例会では、5人の新人議員が一般質問を行いました。



6月3日に開催された新人議員研修会

次回の定例会（予定）のお知らせ

次回定例会は、9月5日（木）から20日（金）の期間で開催する予定です。全ての日程の開催時刻は、午前10時を予定しています。なお、日程は都合により変更されることがあります。

- 9月5日（木）… 議案の提案説明など
- 9日（月）～12日（木）… 一般質問など
- 13日（金）… 常任委員会（教育民生・建設）
- 17日（火）… 常任委員会（経済・総務）
- 20日（金）… 審議採決など

なお、定例会閉会後の9月25日（水）から10月3日（木）まで、決算審査特別委員会を開催する予定です。

本会議は自由に傍聴できます。市庁舎20階東側の「傍聴席入口」からお入りください。

※本会議はインターネットで生中継しており、スマホやタブレットでも見ることができます。



久留米市議会HPの
議会中継のQRコード

本会議の傍聴時の手話通訳・要約筆記

本会議を傍聴される際に、手話通訳や要約筆記を希望される方は、障害者福祉課へ事前に予約してください。

なお、日程によっては、手話通訳者や要約筆記者の確保ができないことなどにより、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先 障害者福祉課
TEL 0942-30-9035
FAX 0942-30-9752

レンズの向こう側

市議会をより身近に感じていただき、若い世代の方に政治や選挙に関心を持ってもらいたい。そんな思いから、今回、表紙写真の撮影を久留米商業高等学校にお願いしました。久留米商業高等学校の皆さん、たくさんの写真を撮っていただき、ありがとうございました。

<撮影者 久留米商業高等学校 3年 柊島夢生さん>
自然と都会の調和がとれた我が町久留米。憩いの場である一ノ瀬親水公園で遊ぶ子どもたちの楽しげな姿を切り取って撮影しました。

新しい議会広報委員会のメンバーです

本号が、新しい議会広報委員会が発行する最初の市議会だよりになります。

今後、多くの市民の皆様に興味を持ってお読みいただける、親しみやすい市議会だよりを目指してまいります。よりよい紙面づくりに向けて、皆様の声をお寄せいただければ幸いです。

議会広報委員会



左から 太田 佳子、早田 耕一郎（委員長）
田住 和也、森崎 巨樹